

大阪府の主な文化事業の概要



平成30年5月11日

大阪府 府民文化部 文化・スポーツ室 文化課

～ 目 次 ～

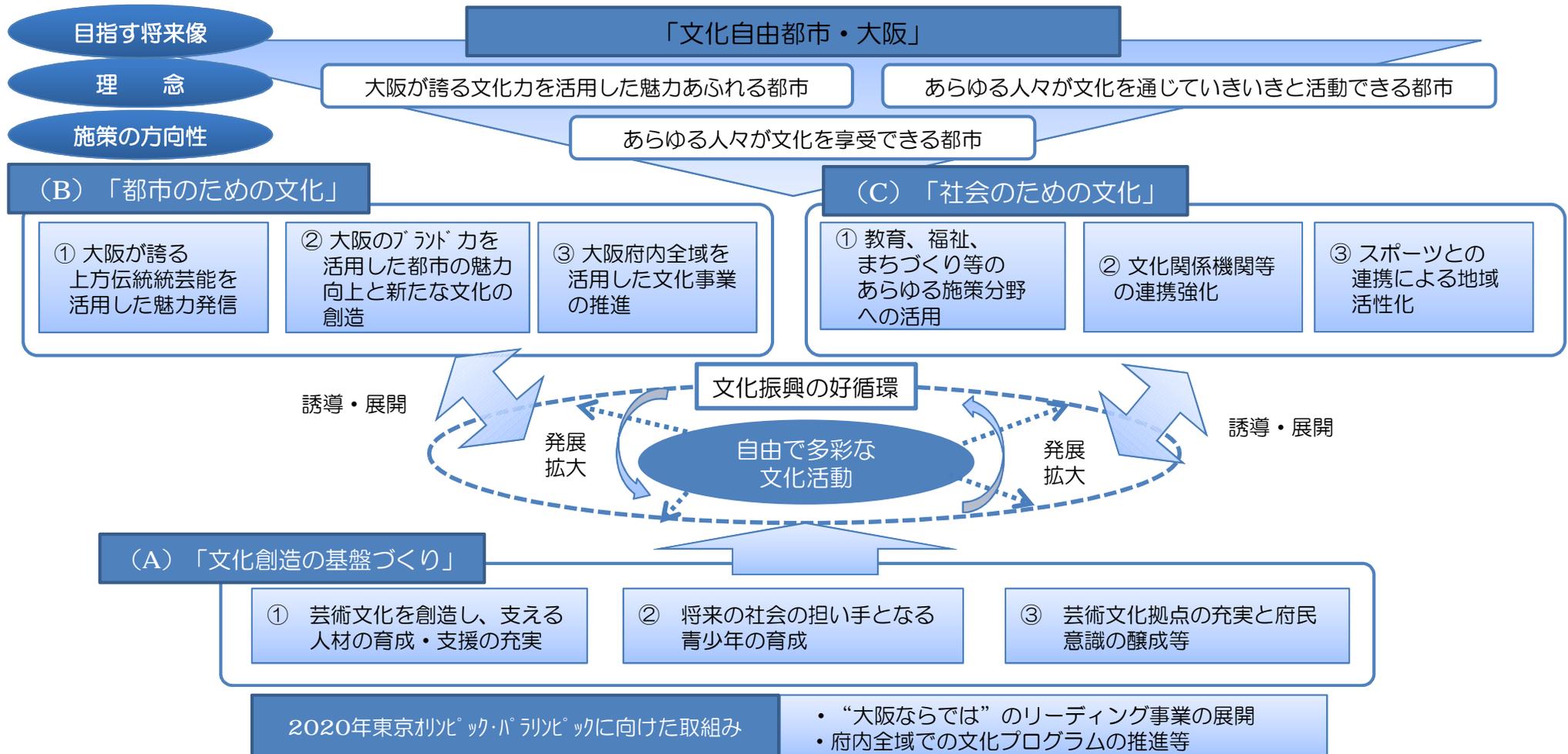
<文化課 所管事業>

- ・ 大阪府の文化施策について P 1
- ・ 芸術文化魅力育成プロジェクト P 2
- ・ 府民の芸術文化活動に対する支援 P 4
- ・ その他の文化施策（主なもの） P 7
- ・ 大阪文化芸術フェス P 8
- ・ 府立文化施設の運営 P 10

大阪府の文化施策について

大阪府では、「大阪府文化振興条例」に基づき、「第4次大阪府文化振興計画」を策定（平成28年11月）し、文化施策の充実にに向けた取組みを推進しています。

「第4次大阪府文化振興計画」の概要



芸術文化魅力育成プロジェクト

若手プロデューサーにチャレンジの場を与え、芸術文化の担い手を育成するとともに、そのプロデューサーが中心となって、大阪にある優れた芸術文化の魅力を発信していくことにより、大阪の文化活動を好循環に転換していくため、府市が共同して行う事業。（平成26年度のアーツカウンシルからの提言を受け、事業化。平成27年度から平成29年度までの3年間事業実施。）

（平成27年度）

○「中之島のつと（knot）」として、大阪市中央公会堂を中心に、上方伝統芸能、演劇、音楽、現代アートのジャンルミックスによる公演等を実施

（平成28年度）

○「Osaka New Producer's Showcase（ONPS オンブス）」として、ストリートダンスを中心に音楽や伝統芸能など様々なジャンルの公演等を実施

（平成29年度実績）

○「Osaka Creative Archipelago」として、10月から2月にかけて、若手プロデューサーが自由に参加できるトークセッション、助成金相談会などの「育成プログラム」を5プログラム実施

○若手プロデューサーの活動拠点(ギャラリー等)を使ったアート作品の制作展示、ライブパフォーマンスなどの「鑑賞プログラム」を5プログラム実施

プログラム名	日程	主な場所	延参加者数	概要	
育成プログラム	トークセッション①「アートプロデューサーの役割」	10.25	中央公会堂（北区）	42名	本プロジェクトの総合プロデューサーから、起業家という観点からプロデューサーとしての基本姿勢等をレクチャー。
	トークセッション②「いい場のづくり方」	11.18	クリエイティブセンター大阪（住之江区）	50名	活動拠点を運営するプロデューサーから、アーティストが活動しやすい「場」づくりについてレクチャーを受けつつ、参加者全員で意見交換。
	トークセッション③「アートの助成金をもっと知ろう」	12.10	芝川ビルモダンテラス（中央区）	223名	助成金を得て活動した実績のあるプロデューサーから、体験談や効果的な活用方法等についてレクチャーを受けつつ、参加者全員で意見交換。助成金に係る個別相談会も実施。
	トークセッション④「事務局のクリエイティブティ」	1.13	アートエリアB1（北区）	97名	芸術文化施設の運営や、文化プロジェクトに取組んでいるプロデューサーから、文化事業等を実施するために必要な事務局のあり方についてレクチャーを受けつつ、参加者全員で意見交換。
	トークセッション⑤「世界のクリエイティブ拠点から見た、プロデューサー育成事業の成果と課題」	2.10	中之島図書館（北区）	21名	本プロジェクトの鑑賞プログラムの成果の検証と参画プロデューサーから取組み内容について発表。また、参加者全員によるワークショップを実施。

プログラム名	日程	主な場所	延参加者数	概要
鑑賞プログラム	大阪マニラ文化交流プログラム	フラッグスタジオ(西区) FIGYA(此花区) ほか	222名	マニラの現代美術家を招へいし、アート作品の制作・展示、トークセッションを実施。日本のアーティストとマニラのアーティストの共演ライブを実施。
	文化住宅1階「道路」化プロジェクト	前田文化(茨木市)	160名	文化住宅の1階を「ひらかれた私道」として一般解放する工事に伴うプログラム。床面掘削の音に合わせたライブや、不要建材を使った家具等の公開制作・展示を実施。
	北加賀屋アーティスト・イン・レジデンス	コーポ北加賀屋 (住之江区)ほか	742名	写真家(西光祐輔)による、北加賀屋の地域性(工業地帯)をテーマとして、元文化住宅を舞台に、アート作品の制作・展示を実施。
	NON FICTION 2018	萬福寺(西区)ほか	416名	大阪の若手アーティスト28名を集め、お寺など、市内3会場において、襖や掛軸等を利用したアート作品の制作・展示を実施。作品をイメージしたライブ(9組)も実施。
	みんなのためのからだ学・フィールドワーク編	一乗寺(高槻市) ほか	650名	美術家(深澤孝史)による、「鶴殿のヨシ原」として有名な葦を使った、アート作品の制作・展示、フリーマーケットを実施。また、自然現象をテーマに造形するアーティスト(三原聡一郎)による、触感に着目したワークショップの実施。

大阪マニラ文化交流プログラム



ワークショップ(フィリピンのおもちゃ改造)、マニラのアーティストによるライブの様子

文化住宅1階「道路」化プロジェクト



床面掘削の音に合わせたライブの様子(日本センチュリー交響楽団奏者も参加)

北加賀屋アーティスト・イン・レジデンス



写真家・西光祐輔氏が北加賀屋に数週間滞在しながら撮影した新作を含め、約100点におよぶ写真作品を展示

NON FICTION 2018



会場のひとつ「萬福寺」での作品展示の様子

みんなのためのからだ学・フィールドワーク編



鶴殿のヨシ刈りと、ヨシで編んだよしずを使った蚤の市の様子

府民の芸術文化活動に対する支援

「芸術文化振興補助金」と「輝け!子どもパフォーマー事業補助金」の交付を通じて、府内の文化活動を応援。
 (メセナ自動販売機の売上げの一部など、「大阪府文化振興基金」を財源として活用。)

	芸術文化振興補助金	輝け!子どもパフォーマー事業補助金
概要	子どもや青少年を中心とした府民に、優れた芸術文化の鑑賞機会などを提供する芸術文化活動に対して補助	府内の子どもが参加し、文化活動を発表する事業に対して補助
補助金額	最大 100万円 まで補助	最大 30万円 まで補助
応募資格	府内の団体のみ	府内の団体・個人
応募できる事業	優れた芸術文化の鑑賞機会などを提供する事業	子どもたちが参加し、文化活動を発表する事業
事業のターゲット	子どもを含めた府民	府内の子ども (おおむね 6歳 から 20歳)
平成 29 年度採択事業数	16 事業	17 事業
平成 30 年度採択事業数	17 事業	16 事業

芸術文化振興補助金採択事業(主なもの)

伝統芸能

「能楽」の魅力を学生や初心者にもわかりやすく理解してもらうことを目的に、初心者向け「土蜘蛛」から能の幽玄の集大成である「井筒」まで、3ヶ月連続で鑑賞できる公演を実施。



音楽・演劇・アート等

子どもから高齢者まで幅広い世代の地域住民に参加していただき、絵画・造詣・演劇・狂言・ボディアーク・書道・音楽等多彩なジャンルのパフォーマンスや体験型ワークショップを実施。



輝け！子どもパフォーマー事業補助金採択事業(主なもの)

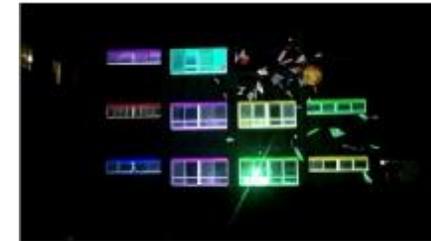
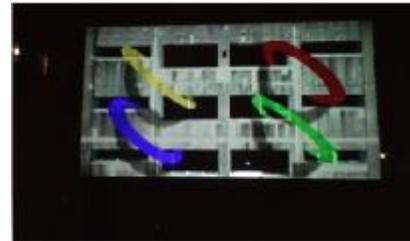
音楽・舞踏・演劇

プロの指導の下、地域の子どもたちによる本格的なミュージカル作品を制作し、発表。



アート

子どもたちの創造性や自己表現力を育むため、映像処理技術の講座を開催するとともに、プロジェクション・マッピングの作品制作体験事業を実施。



庁舎を活用した事業(府庁本館活用事業・フェスパ次世代シアター事業)

○府庁本館活用事業

歴史的・文化的価値の高い府庁本庁舎を芸術文化活動の発表の場として提供し、府民の活動の場を広げることに伴い、民間の文化芸術団体が実施する自主的な事業を促進するとともに、大阪の文化振興に寄与する。

(平成29年度実績)

- 参加団体 ・関西歌劇団：オペラ歌手によるア・カペラでのコンサート(鑑賞者数：91名)、
オペラ歌手とピアノ伴奏による創作オペラのコンサート(鑑賞者数：72名)
- ・鳳フルートアンサンブル：クラシック音楽、ポピュラー音楽のコンサート(鑑賞者数：92名)
- ・ライアーアンサンブル「きらきら星」：クラシック音楽や映画音楽のコンサート(鑑賞者数：52名)



オペラ歌手によるア・カペラでのコンサート

(平成30年度予定)

演劇、伝統芸能、合唱、楽器演奏、ダンスなどの舞台芸術活動を行っている団体を随時募集。開庁日の昼休み時間を活用し、事業を実施。

○フェスパ次世代シアター事業

大阪府咲洲庁舎1階フェスパを子どもたちが様々な文化・芸術に親しみ、豊かな感性や創造性を育み、自己表現力を高める文化活動の場として提供することで、文化を通じた次世代育成を図る。

(平成29年度実績)

- 参加団体 ・Worldあぼろん実行委員会：参加32団体(566名)によるダンスパフォーマンス(鑑賞者数：726名)



(平成30年度予定)

演劇、伝統芸能、合唱、楽器演奏、ダンスなどの舞台芸術活動を行っている団体を随時募集。開庁日の10時から16時を活用し、事業を実施。

府民の芸術文化活動に対する支援

音楽指導事業

府民の音楽活動の促進や音楽文化の振興を図るため、青少年等を対象に吹奏楽などの合奏指導や音楽相談、管楽器・打楽器の演奏技術講習会を行う。

(平成29年度実績)

- ・南地区 月日：10月8日
場所：堺市立三国丘中学校 参加者：177名
- ・北地区 月日：2月11日
場所：豊中市立第一中学校 参加者：188名

(平成30年度予定)

- ・南地区 月日：10月上旬
場所：堺市立三国丘中学校
- ・北地区 月日：2月上旬
場所：豊中市立第一中学校



音楽体験事業

日本センチュリー交響楽団が中心となって、子どもが楽器に触れるとともに、オーケストラの中で演奏を聴き、指揮をするなどオーケストラのあらゆる面を体験できるコンサート等を実施する。

(平成29年度実績)

- ・タッチ・ジ・オーケストラ 18公演 参加者：2,310名
(オーケストラを観て聴いて触って「体感」するコンサート)
- ・夏休みファミリーコンサート 2公演 参加者：1,644名
- ・支援学校コンサート 6公演 参加者：2,539名
- ・病院コンサート 5公演 参加者：535名

(平成30年度予定)

- ・平成29年度と同様に、上記コンサートを実施。



タッチ・ジ・オーケストラ



夏休みファミリーコンサート

その他の文化施策（主なもの）

芸術文化顕彰事業

大阪の文化・芸術に多大な貢献のあった方を顕彰することにより、大阪の文化振興の機運醸成や都市魅力のアピールを行う。

（大阪文化賞、大阪文化祭賞、山片蟠桃賞）

○大阪文化賞（大阪府、大阪市）

学術、生活文化、芸術の分野において際立った活躍をされた方もしくは団体、または文化芸術の活動者の支援や大阪文化の情報発信など、文化芸術の振興に著しい功績のあった方もしくは団体を顕彰。

（平成29年度）

受賞者：井上道義 指揮者、前 大阪フィルハーモニー交響楽団首席指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督、石川県立音楽堂アーティストック・アドバイザー



○大阪文化祭賞（大阪府、大阪市、公益財団法人関西・大阪21世紀協会）

芸術文化活動の奨励及び普及を図るなど、大阪の文化振興の機運醸成を目的に、府内で行われた公演の中から優れた成果をあげたものを顕彰。

（平成29年度）

受賞者：大阪文化祭賞：TTR能プロジェクト、七代目笑福亭松喬、井上道義指揮大阪フィルハーモニー交響楽団

大阪文化祭奨励賞：豊竹芳穂太夫、iaku 玉造小劇店、周防亮介、野間景



○山片蟠桃賞

日本文化の国際通用性を高めるためにふさわしい優秀な著作とその著者を顕彰。（3年に一度）

（平成28年度）

受賞者：ウィリー・F・ヴァンドゥワラ（ベルギー）

受賞作：「日本史-侍からソフト・パワーへ」をはじめとする一連の著作

※次回は、平成30年度に受賞者を決定し、平成31年度に贈呈の予定

大阪文化再発見事業

大阪に住み、学び、学んでいる人々が、「大阪文化」の豊かさを再認識するとともに、大学、市町村及びNPO等と連携し、生涯学習機会の提供を行う。

○阪神奈公開講座フェスタ

大阪府、兵庫県、和歌山県の22の大学・研究機関で構成し、高度で良質な生涯学習機会の提供を目的としている組織である「阪神奈大学・研究機関生涯学習ネット」が生涯学習講座を実施。

（平成29年度）

講座数：19講座、参加者数：1,121名

【主な講座】・大阪の風土と文学

・万葉集の歌と伝説 など

（平成30年度）現在、事業内容を調整中。

○ふみんネット

大阪府と府内市町村が実施する生涯学習推進事業。府内を8ブロックに分け、ブロックごとに各自治体が公開講座や見学会などを実施。

（平成29年度）

大阪府・大阪市ブロックは、「落語」「浪曲」の2講座を平成30年1月に開催。

定員80名に対し194名の申し込み。

・1月12日 落語に触れてみよう！
落語家：桂ちよば、桂小鯛、桂弥太郎

・1月26日 春野恵子の浪曲一直線！
浪曲師：春野恵子

（平成30年度）現在、事業内容を調整中。

大阪文化芸術フェス

事業目的

- 大阪の都市魅力を創造していくため、文化を核とした大阪発展のムーブメントにつながるプロモーションして、平成**29**年度初開催
- 府内のホール・劇場や公園に、上方伝統芸能、上方演芸等の大阪が誇るコンテンツや、音楽、演劇、アート等の国内外のコンテンツを一堂に集め、合わせて実施し、競い合うことで、文化を楽しむ機会を創出するとともに、府内全域に多くの観光客を呼び込む
- 大阪が持つ多彩で豊かな文化の魅力を積極的に発信するほか、国内外から注目されるコンテンツを呼び込むなど、国際エンターテインメント都市の実現を目指すとともに、大阪の都市格の向上を図り、**2025**の大阪開催につなげていく

【実施主体】大阪文化フェスティバル実行委員会

大阪府、大阪市、(公社)関西経済連合会、大阪商工会議所、(一社)関西経済同友会、(公財)関西・大阪**21**世紀協会、(公財)大阪観光局

※在阪放送局9社とも連携

平成29年度実績

- 期 間 平成**29**年**10**月**1**日(日)から**10**月**31**日(火)までの1ヵ月間
- 場 所 万博記念公園をはじめ府内会場(18ヶ所)
- プログラム 主催プログラム: **14**件 **22**公演、共催プログラム: **8**件 **28**公演
- 報道実績 **556**件(新聞、テレビ、ラジオ、WEB等)

[平成29年度主なプログラム]



歌舞伎特別公演
[松下IMPホール]



能勢浄瑠璃公演
[浄るリシアター]



上方落語とお能を楽しむ会
[岸和田市立浪切ホール]



DREAM LIVE(東京スカパラダイス
オーケストラと高校生のコラボ)
[グランキューブ大阪]



BIG BANDO JAGMO
(ゲーム音楽と交響楽のコラボ)
[堂島リバーフォーラム]



英語寄席「KOTENGLISH!!」
[大槻能楽堂]



府・ヴァルトワース県
友好交流コンサート
[ザ・フェニックスホール]



劇団そとばこまち公演
[ABCホール]



OSK日本歌劇団公演
[YES THEATER]



ニコニコ町会議
(動画や生放送で大阪の文化を発信)
[万博記念公園]

平成30年度予定（大阪文化芸術フェス2018）

- 期 間 平成30年9月29日 ～ 11月4日
- 場 所 万博記念公園会場のほか、府内各地域（実行委員会予約会場及び受託事業者からの提案会場）
- 概 要 府、市、経済団体や在阪放送局とも連携した、オール大阪の運営体制のもと、大阪が持つ多彩で豊かな文化魅力を積極的に発信するためのプログラムを展開する。
コンテンツの充実・強化、会場数の拡大を図るとともに、より多くの方に認知いただけるよう、広報活動、国際発信力の強化に取り組む。
- 実施方法 公募型プロポーザル方式により、事業者を募集。選定委員会において、最優秀とされた事業者に委託して実施。

- ・4月18日 事業者公募開始（5月16日締切）
- ・5月下旬 事業者決定（予定）

府立文化施設の運営

大阪府立江之子島文化芸術創造センター(通称:enoco)管理運営事業

文化芸術の創造及び振興を図り、大阪の都市の魅力の向上に資することを目的とする施設。館内には、レンタルスペース、古本屋、ライブラリーなどを整備。

絵画等の収蔵作品の管理活用、交流・活動場所の提供、アートやデザインを活用した地域課題の解決のための支援、解決等、創造的な活動機会の創出を支援するための協働の拠点づくり等を実施する。

- ・所在地：大阪市西区江之子島2-1-34
- ・開設：平成24年4月1日
- ・開館時間：午前10時～午後9時（月曜日、年末年始休館）
- ・主な事業：府が収蔵している「大阪府現代美術コレクション」（約7,900点）の展示、貸出し
芸術文化に関する交流・活動場所の提供
アーティストやデザイナー、府民、NPO、大学、専門家、企業、行政等多様な個人や組織が、
対等な立場で交流・対話を行うためのセミナー、ワークショップ等の実施



(平成29年度実績)

- 来館者数 約145,000名
- 主な事業内容
 - ・絵画等収蔵作品の活用（展示、貸出し 1,101点）
 - ・「須田剋太展」の開催（来館者数547名）
 - ・「20世紀の写真芸術」（府市共催）の開催（来館者数1,174名）
 - ・「浅野竹二展」の開催（来館者数665名）
 - ・府内の学校等に美術作品を持ち込み、解説付きの展示等を行う「コレクションキャラバン」の実施
 - ・「えのこdeマルシェ」の開催（5月、8月、10月）
※近隣住民の来館促進、クリエイターと住民との交流の場の提供

(平成30年度予定)

- 府の収蔵作品の活用（展示・貸出し）をはじめ、クリエイター等への交流の場の提供や、アートやデザインを活用した地域課題の解決のための支援を行う。
また、ワークショップや体験講座などを年間通じて実施する。

【実施予定の主なもの】

- ・収蔵作品を活用した展覧会の実施
- ・大阪文化芸術フェスとの連携事業
- ・クリエイター等への交流の場の提供
- ・ワークショップ等の実施 など

大阪府立上方演芸資料館（通称：ワッハ上方）管理運営事業

大阪固有の文化である上方演芸を後世に伝えていくため、資料の収集・整理・保存を行うとともに、資料の館内・館外展示等を行い、府民に上方演芸に親しむ場等を提供する。また、上方演芸の発展と振興に特に大きな役割を果たし、広く府民から愛し親しまれ、後進の目標となる演者の殿堂入り表彰を実施する。

館内では、過去に放送されたテレビ・ラジオの演芸番組の視聴や、上方演芸・上方喜劇に関する書類の閲覧が可能。

- ・所在地：大阪府中央区難波千日前12-7 YES・NAMBAビル7階
- ・開設：平成8年11月15日
- ・面積：609,943㎡
（ライブラリー：99.85㎡、収蔵庫：260㎡、共用部分：250.093㎡）
- ・収蔵資料：75,432点
- ・開館時間：午前10時～午後5時（水曜日及び木曜日、年末年始休館）



（平成29年度実績）

- 来館者数 14,096名
- 館外展示
大阪が誇る上方演芸の過去から現代までの移り変わり、その時代に活躍した演者にまつわる資料を展示し、府民に上方演芸に親しんでもらう機会を提供するとともに、ワッハ上方のPRを図ることを目的として実施。
 - ・よしもと漫才劇場 10.21～10.29 来場者数 約7,000名
 - ・大阪工業大学梅田キャンパス 11.15～11.30 来場者数 約12,000名
 - ・大阪府立中央図書館 1.30～2.25 来場者数 約45,000名



- 上方演芸の殿堂入り
・かしまし娘(正司歌江、正司照枝、正司花江)

（平成30年度予定）

- 上方演芸の魅力をこれまで以上に広く発信し、伝えていくため、現施設を改修し、府民はもとより、国内外の観光客にも上方演芸に触れ、楽しみ、その魅力を体験できる施設をめざす。また、引き続き、館外展示を実施する。（7月設計、10月工事着手、12月～H31.3月休館、4月オープン予定）

【事業展開例】

- ミュージアム・レファレンス機能：展示の充実（常設展示等）、最新技術による上方演芸の魅力発信、資料の閲覧・貸出等
- アーカイブ機能：資料の保存・管理(収蔵庫は咲洲庁舎へ移設予定)、大学等研究機関との連携等
- 交流・体験機能：ライブ空間を設置し、上方演芸を学べるワークショップ等を開催・フォトブース等を設置し、SNSを用いて積極的に情報発信